

様式 1

平成23年5月5日

独立行政法人
郵便貯金・簡易生命保険管理機構 理事長 殿

団 体 名 アジア保育教育交流推進実行委員会
代表者役職名 代 表
代表者氏名 森 みどり (印)

平成22年度国際ボランティア貯金寄附金に係る配分事業の実施計画書

別添のとおり提出します。

(これ以降、記入欄が不足する場合は、適宜行を追加の上、作成願います。)

第1 配分団体に関する事項

1 配分団体の名称等

注：事務担当者様の連絡先につきましては、このご申請に伴い、確認させていただく事項が発生した場合に迅速な対応をお願いしたいことから、確実に連絡の取れる連絡先を記入願います。

..(フリガナ).....アジアホイクキョイクコワリュウスイシンベンジッコウイインカイ

配分団体名 **アジア保育教育交流推進実行委員会**

英訳名 **Solidarity and Promotion Committee of Nursery and Education in Asia**

申請団体の所在地・電話番号等

[郵便番号] 〒552-0001

[所在地又は住所] 大阪市港区波除4-1-37HRCビル
部落解放同盟大阪府連気付

[電話番号] 072-645-7772 (森代表事務所-非常駐)

[FAX番号] 06-6581-8536 (副代表-高橋定)

[団体ウェブサイトURL]

(本計画提出時までにウェブサイトを準備できない団体は、中間報告書提出時までに作成し、作成でき次第、当機構あて通知願います。)

..(フリガナ).....

[事務担当者氏名] 稲葉 貞夫

[電話番号] (090) 3948-8372 (直接連絡の可能な番号をご記入願います。)

[FAX番号] (06) 6683-2529 (該当なければ「該当なし」と記入願います。)

[E-mail アドレス]**jge17901@cwo2.bai.ne.jp**.....

2 責任者名及び監査役、事務職員数及び会員数等

注：「団体代表者」「事務責任者」又は「会計責任者」が「監査役」を兼ねている団体は、寄附金の配分の対象となりません。

また、「監査役」とは、会計処理の正当性に加え、援助事業の執行状況全般について客観的な立場で監査を行う役職とします。特定非営利活動法人を含む法人格のある団体においては監事がこれに該当します。

なお、団体の構成上、監査役を2名以上置くことが困難な場合には、1名でも結構です。

団体代表者	(役職) 代 表 (氏名) 森 みどり (郵便番号) 567-0891 (住所) 大阪府茨木市水尾3丁目16-25 (電話番号) 0726-45-4545 (FAX番号) 0726-45-4546 (E-mailアドレス)
事務責任者	(役職) 事務局 長 (氏名) 稲 葉 貞 夫 (郵便番号) 559-0012 (住所) 大阪市住之江区東加賀屋2丁目15番24号 (電話番号) 090-3948-8372 (FAX番号) 06-6683-2529 (E-mailアドレス) jge17901@cw02.bai.ne.jp
会計責任者	(役職) 会 計 ・ 事 務 局 次 長 (氏名) 松 尾 純 代 (郵便番号) 610-0953 (住所) 兵庫県尼崎市東園田町3-12-25 (電話番号) 06-6491-6322 (FAX番号) 06-6491-6322 (E-mailアドレス) smatsuo@tezukayama-u.ac.jp
監査役 (監事) (注1)	(役職) 監 査 (氏名) 田 村 賢 一 (郵便番号) 584-0024 (住所) 大阪府富田林市若松町1-23-2 (電話番号) 090-2065-3723 (FAX番号) (E-mailアドレス)
	(役職) 監 査 (氏名) 山 下 裕 子 (郵便番号) 580-0026 (住所) 大阪府松原市天美我堂3-130-2-103 (電話番号) 090-4279-7070 (FAX番号) (E-mailアドレス)

3 平成23年4月から平成24年3月までに実施予定の援助事業及び助成金受給の概要 (受領予定のものを含む)

注：「助成金の助成機関名」「助成額」は該当するものについて記入願います。

なお、国や地方公共団体等の公的な助成機関に重複して申請している事業には、国際ボランティア貯金寄附金は配分できません。

予定期間	実施国 (地域)	援助事業概要	助成金の助成機関名	助成額
2011.7.2~7.16	タイ	スタッフ2名を招聘研修	無	円
2011.7.2~7.16	ラオス	スタッフ2名を招聘研修	無	円
1994年から毎年	タイ	NGOスタッフへの奨学金給付	無	円
1993年から毎年	タイ・カンボ ジア・ラオス	絵本提供事業	無	円
~				円

第2 配分事業の内容等に関する事項

1 配分事業の対象国及び対象地

[実施国名] タイ王国
[実施地域] バンコク都内にあるスラム地区及びバンコク周辺の県
注： 上記の「対象地」については「〇〇県〇〇郡〇〇村〇〇地区」等、できるだけ詳しく記載願います。

2 配分申請書提出以降の対象地の状況の変化の有無とその概要

注： 昨年の配分申請書提出以降、貴団体が実施した現地の確認状況、またこれに基づく現地状況の変化について記入願います。

ただし、配分申請書に基づく当機構の審査において、既に御説明いただいた場合、該当の期間及び内容についてのみ、記入を省略できます。

2010年度の公開保育研修事業を2月に実施したが、9月の事業に比べて参加者が大幅に増加するという変化があった。その理由として、9月に公開保育を実施したスタッフや参加者が、初めて経験した公開保育の手法を理解し、そのイメージを募集の際に「研修教材開発センター」の登録者やその他の施設の関係者により具体的に説明することができたことが大きいとの総括となっている。この結果、9月事業に比べて2月事業には約3倍の参加者があった。これだけニーズがあることが示されたと考えている。

また、2月の研修当日の運営に当たっては、派遣された講師を中心としながら、現地のスタッフについても単なる補助業務から一歩前を出て、研修の担い手としての作業を行うということも試み、将来的に自律的な研修事業の運営につなげることができたと考えている。

3 配分事業の概要

[対象地のニーズに対応し、貴団体が実施しようとしている事業の概要]				
この欄はあくまで計画した事業の概要のみにとどめ、計画の詳細については、この後「5 配分事業の計画」の「(2) 配分事業の詳細」において記入願います。				
対象地	活動内容	援助対象者の属性	対象人数	着手年月 完了年月
バンコク都および周辺の県	保育士による現地の保育園・図書館での公開保育研修、親子保育研修、保育実践意見交換会 (12カ所で実施) パネルディスカッション 保育実践テキストの作成・配布	保育士、図書館スタッフ、保育園に通う子どもおよび親	保育士・図書館スタッフ 100人 子ども 350人 保護者 100人	23年 4月～ 24年 3月
				年 月 年 月
				年 月 年 月
				年 月 年 月

注1：記入欄不足の場合、適宜行を追加願います。
注2：今回の事業実施期間は、平成23年4月1日から平成24年3月31日までです。この期間外に実施する事業は配分金の配分対象とはなりません。

[上記完了予定時期時点における配分事業の到達目標]

(具体的に記入願います(可能であれば数値を用いてください。))

2年間の研修事業実施を受けて、平成22年度に「出前公開保育事業」を寄附金の配分をいただいて実施しているが、限定した箇所での実施に止まっており、他の多くの保育所などから公開保育を実施してほしいとの要望が寄せられている。

そこで、バンコク都内のスラム地区及びバンコク周辺の県の保育園・図書館(75カ所)の中から公募で12ヶ所を選定し、子どもを対象とした遊びの公開保育(6ヶ所)、保護者と子ども(6ヶ所)を対象にした公開保育を現地の保育園・図書館で実施する。また、これらの保育園・図書館(合計12ヶ所)で、公開保育終了後に保育園・図書館スタッフ(約10人×12ヶ所)を対象に保育実践研修会・意見交流会を実施する。

[事業を上記の時期に実施する必要がある理由、あるいは実施する時期として効果が高い理由]
当会はこの2年度で実施してきた研修事業や「研修教材開発センター」でのとりくみが現地で定着し、自主的な体制を確立して根付くことを目指している。また、これらを通じて子どもの育ちがより豊かになることはもちろん、子どもへの関わりについての親としての役割についても働きかける必要があると考えている。このような中で、これまでの研修事業で講師が訴えてきたことやそれを受けて現地の保育者などが考えてきたことがいかに現場で実践され、活かされているかを見ることは早急な課題と認識している。そのため、2年間の研修事業を実践的に定着させるため、これまでの1ヶ所に集まってもらって研修する方法から、2年間の研修会に参加した保育士などが所属するスラム地区やバンコク周辺の保育園や図書館に出向いて実践的な公開保育や研修をする意義は重要であり、その要望は高いと考える。

4 配分事業の計画

(1) 年間作業スケジュール

注1：前記「3 配分事業の概要」で記入した対象地ごとのそれぞれの活動内容が網羅されるものとしてください。
(本ページを複写の上、各活動内容別にスケジュールを記載いただいても結構です。)

注2：スケジュールの策定に当たっては、事業対象地の暦（旧正月その他暦にまつわる休暇等）及び祭礼行事等の予定等も確認の上、くれぐれも事業対象地での協力が得られない時期（休暇期間）への作業スケジュールの設定はされませんようご留意願います。

また、現地の気象条件等により、実施することが困難な作業（例として、雨季の建設工事等）がある場合、その活動不能期間を考慮に入れた無理のないスケジュールを設定願います。

時 期	対象地ごとの活動内容（注1）	日本からの派遣の有無及び有の場合は人数
平成23年 4月	事前調整（事前調査・広報）	無
5月	公開保育研修、親子保育研修、保育実践意見交換会の実施保育園・図書館の選定、テキスト作成会議	有 2人
	公開保育研修、親子保育研修、保育実践意見交換会の準備	無
6月	公開保育研修、親子保育研修、保育実践意見交換会 総括会議 「手作りおもちゃ、集団遊び（仮称）」テキスト作成の準備	有 4人
7月	研修実施後の保育園・図書館の状況の検証	無
8月	研修実施後の保育園・図書館の状況の検証	無
9月	研修実施後の保育園・図書館の状況の検証	無
10月	研修実施後の保育園・図書館の状況の検証	無
11月	事前調整（事前調査・広報）	無
12月	公開保育研修、親子保育研修、保育実践意見交換会の実施保育園・図書館の選定、テキスト整理	有 2人
平成24年 1月	公開保育研修、親子保育研修、保育実践意見交換会の準備	無
2月	公開保育研修、親子保育研修、保育実践意見交換会 パネルディスカッション 総括会議、テキスト整理	有 4人
3月	研修実施後の保育園・図書館の状況の検証 「手作りおもちゃ、集団遊び」テキスト作成	無

(2) 配分事業の詳細

前記「3 配分事業の概要」で記入した対象地ごとの活動内容が、各事業要件に合致することを含めてご説明願います。記入欄不足の場合、適宜行を増やしてください。

<p>事業名: 公開保育の実施と公開保育研修会の実施 実施地域: バンコク都、及び周辺県の 12 箇所の保育園・幼稚園または図書館</p> <p>事業計画</p> <p>1. 目的</p> <p>タイは東南アジアのなかで、経済発展が目覚ましい国のひとつであるが、都市と農村の格差が大きく、また大都市においても高層ビルの足元にスラム地域が広がっており、経済的理由などに基づく劣悪な子育て環境の中で子どもたちの教育の機会均等が奪われているのが実情です。</p> <p>当会は、これまで大阪での子育てに関わる活動を展開してきた経験を活かし、大都市のスラム地域、少数民族の居住地域の保育園及び図書館を対象における保育・教育図書館事業の支援のため、現地 NGO と連携し、大阪への招聘研修の実施など、現地 NGO のスキルアップを図る活動を展開してきました。</p> <p>また、2008 年・2009 年には、国際ボランティア基金配分により、バンコクのスラム地区 31 箇所の保育園・図書館スタッフのスキルアップを図る研修を実施してまいりました。そのなかで遊ぶ楽しさを実感し、また教材は身の回りの生活にもたくさんあることに気付いた保育者は、自らの保育園・図書館で子どもたちと共に実践しようとし始めました。また、親子関係が希薄になってきている大都市事情のなかで親子活動にも応用したいと取組み始めました。しかしながら、いざ子ども対象に実践しようとしたとき、どのように遊びを提案すればよいか分からない、保護者へ親子活動の意義をどう伝えればよいか悩んでいるなど、保育者たちからの要求が出てきたことから、2010 年国際ボランティア基金配分に基づき、子どもを対象とした公開保育、親子活動(あそび)の公開保育を実施しています。</p> <p>2010 年 9 月はじめ、今回申請に当たっての現地調査、9 日から 13 日の公開保育の開催を通して、保育現場で保育実践をすることがいかに求められているのか痛感しました。</p> <p>子ども対象の公開保育で言葉の壁を乗り越えて大阪からの講師と共に笑顔満開で遊びだす子どもの姿、子どもと共に緊張して保育園にきた保護者が、徐々にかたも心もほぐれ笑い出す姿に、当該保育園の保育者、見学していた保育者たちは、「こんな子どもの笑顔は始めてみた」「保育者と子どもの関係がとても近い」「あの親があんなに笑っている」「親子が見つめある笑顔が素敵」と感想を述べると共に、実際の活動を見る公開保育研修のすばらしさを実感していました。</p> <p>2010 年度公開保育の実施は 10 箇所、今年度公開保育の実施箇所でない保育所・幼稚園から、ぜひ次の機会にと要望があることと、バンコク内にとどまらず周辺県からの遊びの提供・親子活動(あそび)の関心も高くなっていることから、2011 年度 12 箇所で公開保育研修を開催し、子どもが遊びを楽しむ活動、親子が心を通い合わせて活動する・あそぶ意義を多くの保育者が学べる機会を提供し、保育者のスキルアップを目指します。</p> <p>2. 現地の状況</p> <p>2008 年・2009 年 2 年間の保育者対象の研修会の実施により、①遊びを楽しむ快さ、②身の周りにある廃材等が子どもにとってとても大事な教材になる事、③保育者が絵本を楽しみ、自分たちで絵本を作るすばらしさを実感し、2009 年国際ボランティア基金配当で設立した教材開発研修センターに教材研究に通ってくる、絵本を借りに来る保育者が増えました。また保育園を訪問すると廃材を活用した教材がとて増えたことから、研修の成果があったことは明確です。</p> <p>しかし、保育所見学をすると子どもは椅子に座りビデオ(子ども番組)をずーと見ているというような、遊びとはいえない活動が多くを占めていました。保育者に話をすると、どのように遊びを子どもに呼びかけたらいいのか、椅子から降りると「わー」と暴れ周り、言う事を聞いてくれないのですと悩みを打ち分けてきます。このような状況から、保育者対象の研修会だけでなく、実際に子どもを対象とする。親子を対象とする活動を行い、それを見学した保育者と保育内容について学びあう研修会の実施が求められていると考えました。</p> <p>公開保育研修会の成果は、2010 年中間保育でも報告しましたが、実際に子どもと共に活動する、</p>
--

親子と活動する公開保育、そして子どもの反応・親子の反応を見たうえでの意見交換会はとても有意義でありました。見学者からの次の機会は、わが保育園でして欲しいという要望も多く聞かれました。

教材開発研修センター登録会員もバンコク都内、周辺県にも広がっていることから、2011 年においても公開保育研修の実施が望まれています。

3. 全体事業

バンコク都内スラム地域を中心とした31か所の保育園・図書館に加え、バンコク都内の幼稚園や周辺県の保育園・幼稚園44か所に呼びかけ、その中から選定して合わせて 12 箇所で、子ども・親子を対象とした遊び(からだを使った遊び、手作りおもちゃを使って遊ぶ、ふれあい遊び、リズムに乗って遊ぶなど)の公開保育研修を開催する。公開保育を開催する保育所の保育者や研修に参加する保育者・そして保護者が、子どもへの関わり方を学び、子どもが遊びを楽しんでいる姿、親子が遊びを共感している姿を実感する機会を提供し、研修会参加者と保育内容について意見交換することで、保育者のスキルアップを図る。

2011年度公開保育研修実施日

11 年6 月	21日(火)	22日(水)	23日(木)	24日(金)	25日(土)	26日(日)	27日(月)
		シュミレーション ・保育の内容確認	①	②	③	⑤	総括会議
	視察				④	⑥	
12 年2 月	14日(火)	15日(水)	16日(木)	17日(金)	18日(土)	19日(日)	20日(月)
		シュミレーション ・保育の内容確認	①	②	⑤		総括会議
	視察		③	④	⑥	パネルディスカッション	

公開保育研修の1日の流れ

午前

9時	開催保育園・幼稚園に到着 子どもや親子と対面し、一緒に活動する
9時20分ころ	講師による遊び開始
10時20分ころ	遊び終了
10時30ころ	公開保育の意見交換会
11時30分ころ	

午後開催の場合は、開催場所へ、
ない場合はシーカアジア財団にて反省会・次の準備など

午後、保育園開催の場合午睡を考慮し、下記のような時間とする

14時	開催保育園に到着 子どもや親子と対面し、一緒に活動する
14時30分ころ	講師による遊び開始
15時30分ころ	遊び終了
15時30分ころ	公開保育の意見交換会
16時30分	

図書館開催の場合

13時	開催図書館に到着 子どもや親子と対面し、一緒に活動する
13時20分ころ	講師による遊び開始
14時20分ころ	遊び終了
14時30ころ	公開保育の意見交換会
15時30分ころ	

(1) 子どもを対象とした公開保育研修会・親子を対象とした公開保育研修会

教材開発研修センター登録会員保育園・幼稚園・図書館から、実施保育園・幼稚園・図書館を選考する。5月・12月の開催月前の事前調整時にバンコクにて現場視察をしながら選考・決定する。選考に当たっては、「公開保育、親子保育事業」への関心度及び積極性の度合い、これらの事業内容に対するニーズの高さ、研修後のその保育園等がある地域への影響の度合いなどを基準にし、教材開発研修センターに登録している保育園や保育者からのニーズが高い保育園を選定し、現場を訪問し当該保育所保育士と話し合いの上、保育園を決定してする。

子どもを対象とするのか、親子を対象とするのか、平日か・土日か、午前か・午後か、についても事前調整時に調整決定する。

具体的遊びのテーマについては、開催保育園・幼稚園・図書館のニーズに基づき、2008年・2009年の2年間の研修内容を土台に組立て、日本側講師と調整する。

(2) 公開保育研修会の意見交換会 (公開保育+保育実践意見交換会)

公開保育開催保育園・幼稚園・図書館と見学者を募る際に、公開保育見学と保育実践意見交換会参加であわせて公開保育研修会であること、見て学ぶ意義を徹底して広報を行う事とする。

公開保育開催までに日本の講師団会議を国内で行うと共に、公開保育研修に向けて訪タイ後現地視察とともにシーカアジア財団スタッフとの研修内容のシュミレーションを徹底して実施する。公開保育研修会終了ごとに、日本側講師、シーカアジア財団のスタッフ間において、自らの子どもへ・親子へのかかわりを振り返り、スキルアップの機会とする。

(3) 6月・2月の公開保育研修会終了時に総括会議

6月6箇所、2月6箇所の終了後、公開保育開催保育所・幼稚園・図書館の代表者、公開保育研修会参加者との総括会議を実施し、公開保育研修会の総括を行う。

(4) パネルディスカッション

2月の最終日に、2008年～2011年4年間の活動に関わった現地保育園・幼稚園・図書館からの代表者、地域住民代表(保護者代表)、シーカアジア財団、大阪マイペンライからそれぞれ、パネラーを選出し、4年間の取り組みについて、子どもや保護者・保育者にとってどうだったか、今後のどのような活動が求められているのかを話し合う。

(5) テキストの作成

公開保育や保育実践意見交換会で提供した「手作りおもちゃ」や「子どもとの遊び」を図式化などしてテキストとして印刷し配布する。

5月 実施箇所選定とテキスト作成会議

6月 第1回終了後、総括会議とテキスト整理

12月 実施箇所選定とテキスト整理

2月 第2回終了後、テキスト整理

3月末 作成

4. 具体的日程

①第1回公開保育研修会事前調整

5月20日(金)～22日(日)

- ・ 公開保育応募保育園・幼稚園・図書館の視察
- ・ シーカアジア財団と実施箇所の選定
- ・ 公開保育実施箇所のニーズを踏まえ、保育内容の検討
- ・ テキスト会議の開催

②第1回公開保育研修会 6月

6月21日(火)	・チュワパーン・スワンプルー・クロントイスラムの視察
22日(水)	・シーカアジア財団スタッフ・日本人講師と共に、公開保育研修保育内容についてシュミレーション、役割分担、準備を1日行う
23日(木) ～26日(日)	・公開保育研修会を、保育園・幼稚園・図書館で実施する。6箇所 ・現地調整に基づき、公開保育場所、日程、時間を決定し実施。
27日(月)	・公開保育開催保育園・幼稚園・図書館代表者、研修会参加者と、大阪マイペンライ・シーカアジア財団と総括会議 ・大阪マイペンライ・シーカアジア財団と総括と次回打合せ ・テキスト整理

③第2回公開保育研修会事前調整

12月21日(水)～23日(金)

- ・ 公開保育応募保育園・幼稚園・図書館の視察
- ・ シーカアジア財団と実施箇所の選定
- ・ 公開保育実施箇所のニーズを踏まえ、保育内容の検討

④第2回公開保育研修会 2月

2月14日(火)	・チュワパーン・スワンプルー・クロントイスラムの視察
15日(水)	・シーカアジア財団スタッフ・日本人講師と共に、公開保育研修保育内容についてシュミレーション、役割分担、準備を1日行う
16日(木) ～19日(土)	・公開保育研修会を、保育園・幼稚園・図書館で実施する。6箇所 ・現地調整に基づき、公開保育場所、日程、時間を決定し実施。
20日(日)	・ 4年間の研修事業のまとめとしてパネルディスカッション ・ パネラー 研修参加者の代表 公開保育実施保育所・幼稚園・図書館から代表 シーカアジア財団 大阪マイペンライ
21日(月)	・公開保育開催保育園・幼稚園・図書館代表者、研修会参加者と、大阪マイペンライ・シーカアジア財団と総括会議 ・ 大阪マイペンライ・シーカアジア財団と総括 ・ テキスト整理 ・ テキスト作成

(3) 作業体制

ア 現地事務所又は現地協力団体の有無

注：配分決定された事業の実施において必要とする現地事務所及び現地協力団体がある場合のみ記入願います。(貴団体の現地事務所及び現地協力団体が現に存在していても、配分決定された事業の実施に
関与しないのであれば、以下の有無は「無」となります。)

<p>現地事務所の有無</p>	<p><input type="checkbox"/> 有 ・ <input checked="" type="checkbox"/> 無 (注を参照願います。)</p> <p>(以下、「有」の場合のみ記入願います。)</p> <p>名 称 _____</p> <p>所在地 _____</p> <p>専従職員 (有給) _____ 人 非専従職員 (有給) _____ 人</p> <p>専従職員 (無給) _____ 人 非専従職員 (無給) _____ 人</p> <p>(注：地図を添付し、その中に事務所の場所を明示願います。 (最終ページの添付資料チェックリストを参照。))</p>
<p>現地協力団体の 有無</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/> 有 ・ <input type="checkbox"/> 無 (どちらかにチェック願います。)</p> <p>(以下、「有」の場合のみ記入願います。)</p> <p>名 称 SIKKHA ASIA FOUNDATION _____ (日本語訳) シーカー・アジア財団 _____</p> <p>所在地 100/14-20 Keha klongtoey 4, klongtoey, bangkok, 10110 _____</p> <p>電話番号 (662) 249-7567~8 F A X 番号 (662) 249-0055 _____</p> <p>(注：地図を添付し、その中に団体事務所の場所を明示願います。 (最終ページの添付資料チェックリストを参照。))</p> <p>[団体の種別] (該当欄にチェック願います。)</p> <p><input type="checkbox"/> 任意の団体 <input checked="" type="checkbox"/> 現地法人 <input type="checkbox"/> その他 (_____)</p> <p>専従職員 _____ 3 2 人 非専従職員 _____ 2 人</p> <p>現地政府への登録の有無 <input checked="" type="checkbox"/> 有 ・ <input type="checkbox"/> 無(どちらかにチェック願います。)</p> <p>(「有」の場合) 政府登録機関名 タイ 内務省 _____</p> <p>[主な事業概要]</p> <p>1 教育文化支援 (図書館事業、保育園事業、奨学金制度)</p> <p>2 人材育成事業 (クラフト事業、職業訓練、農業研修)</p> <p>3 地域開発事業 (麻薬・覚醒剤防止キャンペーン、クリーンアンドグリーンプロジェクト、食品衛生プロジェクト、高齢者福祉プログラム)</p> <p>4 アジア地域間協力・交流 (アジア子ども文化祭、NGO交流会議、アジアお話研修会、スタディーツー受入)</p> <p>[申請団体との関係]</p> <p>当会の結成 (1993年) 以降協力関係にあり、当会のすべての事業に対して全面的、具体的な協力をいただいている。</p>

イ 役割分担

[各実施事項別の分担]				
注1:「対象地」「活動内容」欄については、前記「3 配分事業の概要」で記入した事項を転記願います。				
注2:役割分担の該当がない部分は「なし」と記入願います。				
注3:分担する役割については「会計」「労務管理」「進行管理」「…との調整」「現場指揮」等、簡潔に記入願います。				
対象地	活動内容	貴団体の分担	現地協力団体(現地協力者)の分担	援助対象者の分担
バンコク都および周辺の県	保育士による現地の保育園・図書館での公開保育研修、親子保育研修、保育実践意見交換会(12カ所で実施) パネルディスカッション 保育実践テキストの作成・配布	事前準備 現地団体との調整	事前準備 実施団体との調整	
バンコク都および周辺の県	保育士による現地の保育園・図書館での公開保育研修、親子保育研修、保育実践意見交換会(12カ所で実施) パネルディスカッション 保育実践テキストの作成・配布	講師の派遣 公開保育研修の実施 親子保育研修の実施 保育実践意見交換会の実施 手作りおもちゃや遊びの提供 パネルディスカッションの実施	公開保育等の公募のための広報 実施箇所の選定 実施箇所との事前調整 公開保育等の資料作成 公開保育等の教材等の購入 公開保育等の運営補助 パネルディスカッションの運営	実施する保育園・図書館スタッフによる保護者への参加呼びかけ 公開保育・親子保育への参加 実施会場の設営
バンコク都および周辺の県	保育士による現地の保育園・図書館での公開保育研修、親子保育研修、保育実践意見交換会(12カ所で実施) パネルディスカッション 保育実践テキストの作成・配布	保育実践テキストの作成	保育実践テキストの作成・配布 保育園・図書館への実施後の検証	保育園・図書館での保育内容の実践
[上記の現地協力団体(現地協力者)の作業内容に関する配分申請時以降の調整状況](現地協力団体がない場合は記入不要です。)				
現地協力団体への事業の実施内容説明の開催時期、現地協力団体が協力可能な事項と不可能な事項についての確認状況、事業期間中に確保している現地協力団体のサポート体制等について記載願います。				
事前調査の段階で現地団体と協議し、この事業の必要性について確認してきた。配分金が決定したことを連絡し、事業を実施する保育園等の公募についての考え方、選考基準などを整理し、具体的な作業を進めるよう依頼している。6月の研修事業の実施に向けて、公募の準備について				

は先行して行なってもらおうこととしており、5月のスタッフ派遣の段階で、実施保育園等を決定し、研修の具体化を図っていく予定としている。

[上記の援助対象者（対象地の住民）の作業内容に関する配分申請時以降の調整状況]

援助対象者への事業の実施概要説明の開催時期、援助対象者が協力可能な事項と不可能な事項についての確認状況、事業期間中に確保している援助対象者のサポート体制等について記載願います。

公開保育の実施の基準などが決まれば、バンコク都内およびその周辺県の保育園・図書館に対して、広報を行い、実施箇所を公募することとしている。その後、実施箇所が選定されれば現地の協力団体スタッフが保育園等に赴き、実施内容の詰めを行うこととしている。この内容に基づいて、保育園等のスタッフは保護者に公開保育研修・親子保育への参加の呼びかけを行うとともに、子どもらに対しても説明することとなっている。

(4) 貴団体から対象地へ派遣する専門家・スタッフの活動予定

[貴団体の分担作業の実施に要する日数及び派遣予定者等]						
注1：派遣予定者1名ごとに1行ずつ記入願います。行が不足する場合は、適宜追加願います。						
注2：「活動内容」は、(3)の「イ 役割分担」に記載した事項を転記願います。						
注3：「貴団体の分担」(3)の「イ 役割分担」に記載した事項を転記願います。 なお、記載した役割分担を複数人で実施する場合は、担当者（派遣予定者）ごとの役割について行を分けて記入願います。						
注4：「分担作業実施のために必要とする資格、技術等」については、当該作業実施のために専門性が必要となる場合のみ記入願います。単なる「現地での豊富な活動経験」はこの対象ではありません。						
注5：「要現地活動『日数』」は、必要とする「実働日数」を記入願います。						
注6：「時期」は、(1)の表の「日本からの派遣の有無」欄との齟齬がないか、再度確認願います。						
活動内容	貴団体の分担	分担作業実施のために必要とする技術、資格等	要現地活動『日数』	時期	派遣予定者名 (通訳の要否！)	
保育士による現地の保育園・図書館での公開保育研修、親子保育研修、保育実践意見交換会 (12カ所で実施) パネルディスカッション 保育実践テキストの作成・配布	事前準備 現地団体との調整		2日	平成23年5月	稲葉貞夫	要
同上	同上	保育士	2日	平成23年5月	松尾純代	要
保育士による現地の保育園・図書館での公開保育研修、親子保育研修、保育実践意見交換会 (12カ所で実施) パネルディスカッション 保育実践テキストの作成・配布	講師の派遣 公開保育研修の実施 親子保育研修の実施 保育実践意見交換会の実施 手作りおもちゃや遊びの提供 パネルディスカッションの実施 保育実践テキストの作成	保育士	7日	平成23年6月	松尾純代	要
同上	同上	保育士	3日	平成23年6月	森中智也	要
同上	同上	保育士	3日	平成23年6月	徳永和美	要
同上	同上	保育士	7日	平成23年6月	橋本暢子	要
保育士による現地の保育園・図書館での公開保育研修、親子保育研修、保育実践意見交換会	事前準備 現地団体との調整		2日	平成23年12月	増田和生	要

(12カ所で実施) パネルディスカッション 保育実践テキスト の作成・配布						
同上	同上	保育士	2日	平成23 年12月	松尾純代	要
保育士による現地の 保育園・図書館での 公開保育研修、親子 保育研修、保育実 践意見交換会 (12カ所で実施) パネルディスカッ ション 保育実践テキスト の作成・配布	講師の派遣 公開保育研修の実 施 親子保育研修の実 施 保育実践意見交換 会の実施 手作りおもちゃや 遊びの提供 パネルディスカッ ションの実施 保育実践テキスト の作成	保育士	7日	平成24 年2月	松尾純代	要
同上	同上	保育士	7日	平成24 年2月	脇坂真理子	要
同上	同上	保育士	7日	平成24 年2月	西野伸一	要
同上	同上	保育士	7日	平成24 年2月	二葉智代	要
[派遣予定者の兼任予定] 上記のうち、該当者のみ記入願います。						
派遣予定者名	兼任先の派遣予定期間	兼任先及び本件配分事業の実施地との距離				

(5) 現地協力団体（現地協力者）の活動予定

[現地協力団体（現地協力者）の分担作業の実施に要する日数及び予定者等]				
注1：従事予定者1名ごとに1行ずつ記入願います。行が不足する場合は、適宜追加願います。				
注2「活動内容」は、(3)の「イ 役割分担」に記載した事項を転記願います。				
注3：「現地協力団体（現地協力者）の分担」は(3)の「イ 役割分担」に記載した事項を転記願います。 なお、記載した役割分担を複数人で実施する場合は、担当者ごとの役割について行を分けて記入願います。				
注4：「分担作業実施のために必要とする資格、技術等」については、当該作業実施のために専門性が必要となる場合のみ記入願います。単なる「豊富な活動経験」はこの対象ではありません。				
注5：「要現地活動『日数』」は、必要とする「実働日数」を記入願います。				
活動内容	現地協力団体（現地協力者）の分担	分担作業実施のために必要とする技術、資格等	要現地活動『日数』	従事予定者名
保育士による現地の保育園・図書館での公開保育研修、親子保育研修、保育実践意見交換会（12カ所で実施） パネルディスカッション 保育実践テキストの作成・配布	事前準備 実施団体との調整	研修教材開発センター 責任者	2日	アリッサー・ウッパシー
同上	同上	研修教材開発センター スタッフ	2日	ピクン・プラーニースワナクン
保育士による現地の保育園・図書館での公開保育研修、親子保育研修、保育実践意見交換会（12カ所で実施） パネルディスカッション 保育実践テキストの作成・配布の作成・配布	公開保育等の公募のための広報 実施箇所の選定 実施箇所との事前調整 公開保育等の資料作成 公開保育等の教材等の購入 公開保育等の運営補助	NGO事務局長	7日	アルニー・プロンマー
同上	同上	事業コーディネーター	7日	ドウツルディ・ウンソクタム
同上	同上	NGO事務局次長	7日	ナリラット・タンチャルーンスック
同上	同上	研修担当スタッフ	7日	ピヤマート・ナークトンクン
同上	同上	図書館スタッフ	7日	チャナパー・ヌアンセイ
同上	同上	広報課長	7日	パカポー・クンチャラ・ナ・アユタヤ
同上	同上	研修担当スタッフ	7日	ウィパー・スアガームイアム

同上	同上	研修担当スタッフ	7日	ドゥアンボン・サイヤスック
同上	同上	研修担当スタッフ	7日	プラソン・ジタンハー
同上	同上	研修担当スタッフ	7日	ナリッサラー・プリルン
保育士による現地の保育園・図書館での公開保育研修、親子保育研修、保育実践意見交換会 (12カ所で実施) パネルディスカッション 保育実践テキストの作成・配布	事前準備 実施団体との調整	研修教材開発センター 責任者	2日	アリッサー・ウッパシー
同上	同上	研修教材開発センター スタッフ	2日	ピクン・プラーニースワナクン
保育士による現地の保育園・図書館での公開保育研修、親子保育研修、保育実践意見交換会 (12カ所で実施) パネルディスカッション 保育実践テキストの作成・配布	公開保育等の公募のための広報 実施箇所の選定 実施箇所との事前調整 公開保育等の資料作成 公開保育等の教材等の購入 公開保育等の運営補助 パネルディスカッションの運営	保育士 図書館スタッフ	7日	アルニー・プロンマー
同上	同上	事業コーディネーター	7日	ドゥツルディ・ウンソクタム
同上	同上	NGO事務局次長	7日	ナリラット・タンチャルーンスック
同上	同上	研修担当スタッフ	7日	ピヤマート・ナークトンクン
同上	同上	図書館スタッフ	7日	チャナパー・ヌアンセイ
同上	同上	広報課長	7日	パカポーン・クンチャラ・ナ・アユタヤ
同上	同上	研修担当スタッフ	7日	ウィパー・スアガームイアム
同上	同上	研修担当スタッフ	7日	ドゥアンボン・サイヤスック

駐タイ日本大使館一等書記官 及び バンコク都クロントイ区役所内務管理課

□その他（以下のとおり）

〔対象国における外国籍NGOの活動についての法的規制の有無、援助事業の内容に係る法的規制の有無とその調整状況〕

対象国内での活動そのもののほか、配分事業の内容に法的規制等がある場合（例：建築に当たり、床面積〇〇以上のものについては〇〇機関の許可が必要、医療行為のうち、〇〇の実施に当たっては〇〇機関の許可が必要。）についてはその許可等の取得予定時期を記入願います。

現地において事務所を構える場合や、長期に人員を雇用する場合は登録が必要とのことであり、今回の事業はこれに該当しないものです。事業の具体的な実施に当たっては、当該の保育園等が所属する行政機関に対して事前に公開保育等の事業を実施する旨報告するものとしています。

〔配分申請時以降の対象地及びその周辺地域の治安状況の確認結果〕

「(6) 援助事業実施に当たり想定される（過去、対処してきた）トラブルと対応策」の項でも記載していますように、事業の実施にあたっては現地の生の状況の把握を常に行うこととしており、申請時及びそれ以降についても治安状況は安定しております。今後も状況の変化が予想されますので、現地の随時連絡を取り、かつ外務省の海外安全情報などを確認して、具体的な計画を遂行して行くこととしています。

6 配分事業の進捗状況の管理方法

〔貴団体の管理実施者〕

事務局長（稲葉）を全体の責任者とし、現地との調整や日本での準備の責任者として2人の事務局次長（松尾、増田）をおいて事業の管理を行うこととしている。

〔実施時期及び頻度〕

配分金が決定次第、最低毎月の連絡を行うとともに、事業の実施時期が迫れば必要に応じて連絡を取り合うこととしている。

〔実施方法（実施管理者と援助地との連絡手段及び進捗管理の内容）〕

現地との連絡調整は、日常的にはメールおよび電話で行い、詳細の打合せは他の事業で渡航する際、及び現地団体スタッフが来日する際に調整することとしている。

第3 配分事業に要する経費

1 配分事業に要する費用総額及び配分金使用予定額

団体名 アジア保育教育交流推進実行委員会

現地通貨と日本円の適用レート 1パーツ=2.73円 (平成23年4月23日現在)

用途又は使用目的等(配分決定されたものについては使途別内訳(項目))	品名	単価(円) (円貨換算の上記入)	数量	費用額(円) (配分金使用予定額又は団体自己負担等額)	配分金使用予定
航空運賃(5月・サーチャージ料等含む)	航空運賃(5月・サーチャージ料等含む)	往復62000円	2人	136000円	○
航空運賃(12月・サーチャージ料等含む)	航空運賃(12月・サーチャージ料等含む)	往復75000円	2人	150000円	○
日本人専門家スタッフ滞在費(5月・12月)	日本人専門家スタッフ滞在費(5月・12月)	3000円	延べ4人日	12000円	○
通訳料	通訳料	880円	2日×2回	4000円	○
		(不足分)14120円	2日×2回	56000円	
日本人専門家・スタッフ研修実施派遣費	航空運賃(6月・サーチャージ料等含む)	往復75000円	4人	300000円	○
"	航空運賃(2月・サーチャージ料等含む)	往復75000円	4人	300000円	○
"	日本人専門家日当(6月・2月)	3000円	延べ52人日	156000円	○
"	日本人専門家スタッフ滞在費(6月・2月)	3000円	延べ42人日	126000円	○
"	日本人専門家スタッフ交通費(6月・2月、ガソリン代)	2570円	延べ14日	36000円	○
現地スタッフによる事前調整・アフターフォロー経費	資料作成費	1080円	75カ所	81000円	○

〃	現地スタッフ移動ガソリン代	1280円	75カ所	96000円	○
〃	現地スタッフ人件費補助	600円	168人日	101000円	○
現地スタッフによる研修準備・運営補助費（研修事業2回）	資料作成費	266円	40人×12カ所	128000円	○
〃	運営補助スタッフ日当	600円	120人日	72000円	○
	施設利用料・設営費	8170円	12カ所	98000円	○
〃	公開保育教材費	26600円	12カ所	319000円	○
〃	子ども保育用おもちゃ購入費	136000円	1式	136000円	○
〃	研修用保育絵本購入費	540円	30冊×12カ所	195000円	○
〃	研修用参考図書購入費	10830円	12カ所	130000円	○
〃	通訳料	880円 (不足分)14120円	7日×2回 7日×2回	12000円 198000円	○
〃	資料翻訳料	2160円	25枚	54000円	○
〃	移動交通費（ガソリン代）	2720円	12カ所	33000円	
パネルディスカッション実施経費	施設利用料・設営費	13000円	1カ所	13000円	○
〃	移動交通費（ガソリン代）	4080円	1カ所	4000円	
保育テキスト作成費	テキスト印刷費	808円	500冊	404000円	○
配分事業に要する費用総額の合計				3350000円	
上記配分金使用予定額の合計				3059000円	

（記入上の際の留意点）

注1：配分事業の実施において、貴団体が必要とする全項目について記載願います。

注2：一つの品名について、配分金使用予定額と団体負担等額がある場合は、上段に配分金使用予定額を記入し、「配分金使用予定」欄に○印を付け、下段に団体負担等額を記入願います。

なお、各欄の配分金使用予定額は千円単位での記入としてください。

注3：記入欄不足の場合、適直行を追加願います。

注4：「単価（円）」欄の記入に当たり、欄外左上の「現地通貨と日本円との適用レート」も必ず記入願います。

注5：「数量」欄において、雇用のための人件費や、現地滞在費については、何人日分で計上してください。週単位、月単位の雇用でも日数計算（実働日の換算）の上、記載を願います。

注6：検算の上、計算ミスのないようにしてください。また、「**上記配分金使用予定額の合計**」欄が、**配分決定された金額以下であることを確認願います。**

2 前記1の「配分事業に要する費用総額の合計」と「上記配分金使用予定額の合計」の差額の調達方法

注：普段の団体での活動における資金の調達方法及び平成23年度の調達見込額を以下に記入願います。

不足額については、当会の特別会計である「サワディ基金」からの繰入れや会員・支援者からの寄附で補うこととしています。サワディ寄金からの繰入については、約30万円を見込み、寄附による調達は約5.0万円を見込んでいます。